



すべての男女が自立した対等なパートナーとして、

個性と能力を發揮しながら、いきいき暮らす

「男女共同参画社会」の実現を目指して

男女いきいき蒲郡

その8

企画調整課 ☎66♦1162

Eメール kikaku@city.gamagori.aichi.jp

皆さん(特に男性)は、「男女共同参画社会」について、どのように思われるでしょうか? 男女共同参画とは、性別にとらわれず、自分らしさを尊重する「男女」を尊重する「男女」が、お互いに尊重しあうこと、難しいことでも、不合理なことでもない、こゝろ当たり前のことなのです。そのことを理解していただくために、今年の1月から3月に行われた、男性を対象とした講座「メンズカレッジ」の様子を紹介します。

ジェンダーって?

今回、メンズカレッジを受講された方は、「男女共同参画」という言葉は聞いたことはあるが、「ジェンダー」(文化的・社会的につくられた性差)という言葉は聞いたことがないという方がほとんどでした。それでも、お話を聞いてみると、特に意識していなくても、「男女共同参画」の意図をきちんと理解している方や、講座を進めていくうちに理解を深めていただいた方が多く、大変有意義な講座となったようです。

その講座の中で、特に印象に残った発言を紹介します。

講師 世間で求められる男らしさや女らしさは、それを居心地よく感じる人もいれば、決められた枠にくくられることに抵抗がある人もいます。

Aさん 本来の性による「らしさ」が誇張されて、今の性別役割分担担という形になったのではないだろうか。

Bさん 家庭は時間の共有の場であり、癒しの場。どちらが偉いとかではなく、お互いに人格を認め合うことが大切だと思う。